

12月16日(月)

予想しなかった祝福

聖書朗読 II 列王記 4:8~17

私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にある道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。
ピリピ 4:12

シュネムに住んでいる女性は、エリシャを尊敬していました。神の使いであるエリシャはその場所を時々訪れていました。彼女はエリシャのために食事を作り、また夫に相談し、エリシャのための部屋を作りました。彼女のエリシャをもてなす行動は際立った素晴らしい行動でした。それは何かエリシャからの見返りを期待して行った行動ではなく、ただ純粋に「神の聖なる方」であるエリシャをおもてなししたいとの思いからでした。エリシャは、彼女に報いるために何が出来るか尋ねました。それに対して彼女は『私は私の民の間で、幸せに暮らしております。』(II 列王記 4:13)と答えました。

彼女は自分の置かれている現状、また十分な物を持っていることに満足していたのです。当時、結婚して子供がいない女性は不名誉とされる時代でした。彼女には子供がおりませんでした。エリシャは今一度、彼女を呼び、入り口の所に彼女は立ちました。そして、エリシャは一年後に男の子を授かるであろうと告げました。この夫婦は歳を取っていたため、子供を授かるとは思えなかったもので、彼女の心はかき乱されました。そして『いいえ、ご主人様。神の人よ、このはしのために偽りを言わないでください。』(16節)と答えました。しかし、やはりエリシャが告げた通り、一年後に確かに息子を授かりました。子供を授からず不名誉と言われ、歳のため諦めていたにも関わらず、後継ぎとなる息子を授かることが出来たのです。何という祝福でしょう。

私たちにも同じことが言えるのではないのでしょうか。私たちが不遇を感じる時でも、神様は私たちのことを呼んでおられます。私たちは、不名誉のように感じられる状況に置かれる時もありますが、最終的には、素晴らしい完全な喜びに溢れる御国が私たちを待っていることを忘れてはなりません。(神様が居られる)前に向かって進んで行かなければならないのです。

讃美歌 291

祈り 神様、不遇を感じる時もいつもあなたが共におられることを思い起こさせて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

デナ・メレネス

テキサス州ヴィクトリア

今日のカ

2019年12月16日~12月22日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月17日(火)

神様の存在

聖書朗読 II 列王記 5:1~14

そこで、彼はその一行の者を全部連れて神の人のところに引き返し、彼の前に来て、立って言った。「私は今、イスラエルのほか、世界のどこにも神はおられないことを知りました。それで、どうか今、あなたのしもべからの贈り物を受け取って下さい。」 II 列王記 5:15

ソファンは14歳の時、祖母をサポートするために高校を中退しなければなりません。彼女の父は亡くなり、母は再婚し遠くへ引っ越したので、祖母と暮らす必要がありました。ソファンは意志の強い子でした。学ぶことをあきらめず、夜間高校に通い、卒業しました。そして不動産関連の職に就き、家賃を借金する業務と受付業務を担当しました。

小さい頃からソファンと友達だった子が、私たちの英語のバイブルクラスに参加していました。一年ぶりにソファンに会った時に、彼女をクラスに誘いました。聖書を学びながら英語の勉強も出来ることを伝えました。ソファンは疑問に思った点を質問し、しっかりとクラスに参加してくれました。あっという間によく読み、内容を理解するようになりました。

毎週クラスの終わりに生徒たちに何を学んだのか、また特に心に残ったことを聞きました。ソファンは涙ぐみながら、「私のことを気にかけてくださる生ける神様がいらっしゃることを知りました。」と答えました。神様の存在を全く知らなかったのに、短い期間で神様の存在を知り、感銘を受けたのです。ナアマンのように、新たな希望だけでなく、生きる意味さえも見つけたのです。

神様こそが私達が生きる理由です。神様など居ないと思ってしまう時も、神様は最悪の状況を、機会と希望あるものへと変えて下さる方であることを思い起こしましょう。

讃美歌 512

祈り 万能な神様、あなたに対する信仰により希望を与えて下さりありがとうございます。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ウィリアム・E・マクドナー
カンボジア バタンバン

12月18日(水)

明確なビジョン

聖書朗読 ネヘミヤ 1:4~11

あなたに向かって、私は目を上げます。天の御座に着いておられる方よ。

詩編 123:1

私は世界中の都市にある歴史博物館を訪れることが大好きです。それは私にとって最高のレジャーで、本当に幸せなことだと思います。朝、手短かに歴史博物館を訪れるだけでも、私にとってはそれほども素敵な体験です。小さな声で話している来館者たち、よく考えられた照明、素晴らしい展示、そしてあの独特な匂い、こうした雰囲気大好きです。そして、まるでその時代を訪れているような気分にもなります。

同じテーマの展示会でも、それぞれの歴史博物館によって内容は様々です。地域性が反映されるからです。私達は歴史を今の時代の価値観で振り返ります。そうすることにより、今の生活が色付いたものを感じられることはありませんか。

ネヘミヤは、その熱心な祈りの中で、過去、現在、そして未来をどうやって御言葉と共に歩むべきか、素晴らしい例を見せています。ネヘミヤは明確にイスラエルの罪に溢れた過去に触れています。(7節)そして、今こそ過去を悔い改め、神様に従うべきであると祈っています。(9節)そして、そうすることにより、明るく希望ある未来が訪れることを楽しみにしています。(11節)私達がネヘミヤのように祈る時、私達の過去、現在、そして未来が美しい糸で紡がれていて、繋がっていることが分かるでしょう。

讃美歌 294

祈り 父よ、私達の過去、現在、未来を理解し、常にそれがあなたの完璧な計画に基づいていることを理解させて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

シェル・ボーウェン
コロラド州ロングモント

12月19日（木）

主の晩餐

聖書朗読 エステル 5：1～14

したがって、もし、ふさわしくないままでパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだと血に対して罪を犯すことになります。ですから、ひとりひとりが自分を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。

I コリント 11：27-28

王室との食事に招かれるとはなんと名誉なことでしょうか！王室は毎日、人を招待している訳ではありません。ですから限られた数少ない、本当に貴重な機会と言えるでしょう。ハマンは人々を招待することにより、自分の権力を友達や家族に見せつける機会として用いました。箴言 16:18 には『高慢は破滅に先立ち、高ぶった霊は挫折に先立つ』と記されています。これはハマンのことを的確に描写していると言えるでしょう。

クリスチャンも、毎週日曜に大切な食事に招かれています。それは主の晩餐です。神様が私達のために何をして下さったか（一人子であるイエス様を私達の罪の為に犠牲にして下さったこと）を思い出し、主の晩餐に与って欲しいと神様は思われています。これは記念の食事です。私はハマンのようにではなく、感謝の気持ちと謙虚さを持って、この主の晩餐に与りたいと思います。神様の家族の一員となれることは誇らしいことであることに気が付きたいです。神様から霊的な恵みを頂けるとは、何と素晴らしい喜びでしょうか！

私がいつか御国で神様にお会いする時、神様が私のためにどれだけの犠牲を払って下さった思い出し、御前にひざまずくでしょう。私は充分神様からの愛や、様々な恵みを頂いています。そのことに感謝し、心から御名を崇めます。

讃美歌 333

祈り 父なる神様、プライドが高くなってしまったり、高慢になってしまったりする時はお赦し下さい。クリスチャンとして主の晩餐に与る時、御名を称え、自らのことを振り返れますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ローズマリー・マクナイト
テネシー州ヘンダーソン

12月20日（金）

神様はどちらに？

聖書朗読 ヨブ 1：1～12

山々が生まれる前から、あなたが地と世界とを生み出す前から、まことに、とこしえからともしえまであなたは神です。 詩編 90：2

人々はよく「悲劇が起きた時、神様はどこにおられたのか？」と問います。この台詞を聞いた時に思い出すのはヨブではないでしょうか？ヨブは『誠実で直ぐな心を持ち、神を恐れて悪から遠ざかっていた』（1節）人でした。そして、「健康、富、知恵」を持ち合わせた人でした。そんなヨブが、富、子ども、健康、これら全てを失ったのです。

ヨブ記の中で、彼は「何故自分の身にこのようなことばかりか？」と思いながら、もがき、苦しみます。神様はヨブに、なぜヨブが苦しみ、悲劇に襲われたのかを説明しました。（神様の許しを得たサタンが不幸な出来事を起こし、ヨブはその信仰心が試された。ヨブが友達と議論したことは人間の知識の範囲内での考えでしかない。）ここでヨブが得た答えから、ヨブの私達も学ぶことが出来るでしょう。神様は私達の理解を超えた叡智に富んだお方なのです。

また、神様は私達を愛しておられます。私たちはこの世の生活で、試練は苦手です。神様は被造物をすべて御手に治めておられ、また被造物を神様のご計画のために用いられます。ヨブはたとえ世の中で、もしくは私たちの人生の中で何が起ころうとも、神様を信じるにより希望を持ち続け、神に信頼を置く者として日々造りかえて頂くことを学びました。私たちも、ヨブが学んだことから得るものがあるのではないのでしょうか。

讃美歌 520

祈り 神様、私たちがどのような苦難に直面しようとも、いつも私達を助けて下さりありがとうございます。あなたが与えて下さる愛と恵みに感謝します。また来る御国の約束にも感謝します。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

セラーズ・S・クレイン Jr.
テネシー州マディソン

12月21日 (土)

調子が悪い日

聖書朗読 ヨブ 17:1~9

あなたが横たわるとき、あなたに恐れはない。休むとき、眠りは、こちよい。
箴言 3:24

私は80年以上生きてきましたので、人生で様々な経験をしてきましたが、それでも、私は今でも時々試練に悩み、ヨブのように無力に感じる時があります。まるで本日の聖書朗読箇所 17:1『私の霊は乱れ、私の日は尽き、私には墓場があるだけです。』17:11『私の日は過ぎ去り、私の企て、私の心の願いも砕かれた。』この2つの聖句が私の心境にピッタリのように感じる時があります。

あなたも同じように感じる時があるのではないのでしょうか。通常、私はただ単に調子の悪い日を過ごしただけです。しかし、ヨブが過ごした日々は私の調子が悪い日とは比べ物にならないほど、過酷な日々でした。ヨブはサタンから悪意ある攻撃を受けていました。サタンは神にヨブが神様を愛しているのは、神様がヨブの周り、家の周り、そしてすべての財産の周りに「垣をめぐらされた」からだと言うことを証明しようとしたのです。

私たちはヨブに対するサタンからの攻撃がどの程度の期間行われていたのか、正確にはわかりません。そして、ヨブはこの試練の出口が見えないように感じていたことでしょう。しかし、大変苦しい状況におかれていても、それはいつか終わりが来るのです。そんな時は周りが見えなくなりますが、ダビデやヨブのことを思い起こしましょう。彼らも大変な思いをしましたが、永遠に苦労したわけではありません。いつか終わりは来るのです。

もしも病に伏していたり、逆境で苦しんでいる時があるならば、そんな時こそ、ヨブのことを思い出しましょう。とても苦しい状況でも、それはいつか終わります。先ほども申し上げましたが、永遠に続くことはないのです。ヘブル6:19で触れられているように「たましいの錨のようなもの」である希望を常に持ちましょう。嵐は過ぎ去り、また太陽が昇る日が来るのです。

讃美歌 298

祈り 万物を創造された神様、心配してしまう時にも私が平安を頂くことが出来るよう、お祈りします。あなたが全て計らって下さることを思い起こさせて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

パット・アンダーソン
テキサス州アビリン

12月22日(日)

二択の道

聖書朗読 詩篇 1篇

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のもとに来ることはありません。
ヨハネ 14:6

私は何かを選ぶ時に二択よりも、数ある選択肢の中から選ぶことが好きです。しかし、詩篇1篇で紹介されている道(選択肢)は、2つだけです。神様に従うか、神様には従わずに自己中心的に生きるかの二択です。

後者は、多くの人が選びがちな選択肢で、あまりよく考えることなく選んでしまいがちな選択肢です。この選択肢は、(表面的には)魅力的で自分を満足させる道のように見えるからです。しかし、そのような道を選んでも、いつかその誤りに気付かされます。神様なしの、孤独な道、靈的に得るものの無い道は、単なる虚しい道だと気が付きます。

もう一方の、神様が用意して下さっている道は、平坦な道ではありません。しかし、それはまことの神様と歩む道であり、靈的にも満たされる道です。この道を選ぶ人は、自分で道を切り開く必要はありません。神様が既に計画をお持ちで、愛をもってリーダーとなりお導き下さるからです。神様は私達のために既に道を準備して下さっているのです。神様こそが唯一まことの存在で、私達に生きる意味を与えて下さいます。神様がいらっしゃるので、私達は辛い時にも癒しを得られ、深い喜びを感じる事ができるのです。

道、真理、いのちであられるイエス様

正しく生きる道をお示してください

心の乱れ、衝突があろうとも

あなたの道を歩めますよう、お導きください

ジョージ・スクワイヤー

讃美歌 294

祈り 天におられるお父様、あなたのお導きに日々従います。道を見失いそうになる時、正しい道に戻れるようお導き下さい。素晴らしい見本としてイエス様を与えて下さったことを感謝します。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ポール・L・ワトソン
ノースキャロライナ州ダラム